



ごあいさつ



厚木市郷土資料館では、市民や研究者の皆様の御協力を得て収集いたしました資料の一部を広く公開するため、収蔵資料展を開催しております。30回目となる今回は、「あつぎの養蚕教師・小林^{のぼる}升が行く～明治期あつぎの養蚕事情～」をテーマに養蚕、養蚕教師に関連する資料を中心に展示いたします。

「養蚕」は、かつての厚木の主産業であっただけでなく、明治時代の国を支えた日本の基幹産業でもありました。特に明治20年前後は、地場産業としての養蚕と国策としての殖産事業との分岐点と考えられます。この大切な時期に、最新の養蚕技術を地方に伝えたのが本展示会の主人公である養蚕教師とよばれる人たちでした。この展示会では、厚木市下荻野で生まれ育った養蚕教師・小林升について、その子孫である小林克也様から寄贈された資料によって、その足跡を具体的に追います。そして、彼らがどのような技術をどこから導入し、どのように伝えたのかを紹介する本展示会が、郷土の養蚕文化とその歴史に触れる機会となり、ふるさと厚木をより深く御理解いただく一助となれば幸いです。

最後になりますが、本資料展の開催にあたり、大切な資料を寄贈していただきました小林克也様をはじめ、荻野小学校、養蚕と出版文化研究会、御協力を賜りました皆様の御厚意に心からお礼申し上げます。

平成 18 年 10 月

厚木市教育委員会

教育長 長谷川 美雪